

(添付書類一覧)

住宅耐震改修計画策定費補助事業

種別	添付書類	指定様式
交付申請	① 住宅耐震化補助金交付申請書	様式第1号
	② 同意書	様式第27号
	③ 住宅概要書(1)	様式第16号
	④ 住宅の所有者及び建築年月が確認できる書類で、次のいずれかの写し	—
	・ 建築確認済証又は検査済証	—
	・ 登記事項証明書	—
	・ 固定資産課税台帳記載証明(建築年月が記載されたもの)	—
	・ その他住宅の所有者、建築年月を証明する書類	—
	⑤ 住民票の写し	—
	⑥ 付近見取図(方位、道路及び目標となる地物を明示したもの)	—
	⑦ 耐震診断及び耐震改修計画策定に要する経費の見積書	—
	⑧ 委任状(代理申請の場合)	—
変更・中止	① (変更の場合) 住宅耐震化補助金変更交付申請書	様式第4号
	(中止の場合) 住宅耐震化補助事業中止(廃止)承認申請書	様式第5号
	② 交付申請の各添付書類のうち、内容に変更があったもの	—
	③ 委任状(代理申請の場合)	—
実績報告	① 住宅耐震化補助事業完了実績報告書	様式第10号
	② 補助金算定・精算書(1)	様式第19号
	③ 耐震改修工事費用の見積書	—
	④ 交付決定通知書の写し	—
	⑤ 耐震診断報告書	様式第22号
	⑥ 耐震改修に係る図書	—
	・ 配置図	—
	・ 平面図、立面図(耐震改修前後)	—
	・ その他耐震改修計画内容が確認できる図書	—
	⑦ 耐震診断、耐震改修計画策定に係る契約書の写し及び領収書の写し	—
	⑧ 兵庫県住宅再建共済制度加入証書の写し又は兵庫県住宅再建共済制度加入申込書の写し	—
	⑨ 委任状(代理申請の場合)	—
※ 耐震診断の結果、地震に対して安全なことが確認できたため、耐震改修計画の策定を実施しない場合にあっては、上記2、5、6(耐震改修計画策定に係るものに限る。)は不要です	—	

住宅耐震改修計画策定費補助事業

様式第1号 (第4条関係)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住宅耐震化補助金交付申請書

たつの市長 様 (申請者) 679-4192
住所 たつの市龍野町富永 1005-1
~~団体名~~
代表者名 龍野 太郎

収支予算書等と整合する
ように記入してください

令和〇〇年度において、住宅耐震改修計画策定費補助事業を下記のとおり実施したので、補助金168,000円を交付願いたくたつの市住宅耐震化補助金交付要綱第4条の規定により関係書類を添えて申請します。

申請者が自署してください

記

1 事業の内容及び経費区分 (別記)

建築士事務所等との契約予定日を記入してください
※交付申請日より後の日付
※契約は交付決定日以降に行うことが必要

2 事業の着手年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
事業の完了年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

代金の支払い予定日を記入してください

3 添付書類

たつの市住宅耐震化補助金交付要綱別表第1から別表第7までに定める書類を補助対象区分に応じ添付すること

- 当該申請の審査に当たり住民登録の状況及びたつの市の他の制度の活用状況について、関係当局に報告を求めることに同意します。
- 私は、たつの市暴力団の排除に関する条例(平成24年条例第1号)第2条第2号及び第3号に掲げる暴力団員及び暴力団密接関係者に該当しません。

申請者氏名 龍野 太郎

申請者が自署してください

住宅耐震改修計画策定費補助事業

別記

収支予算書

補助金額は、合計額の2/3以内かつ200,000円以内とし、千円未満は切り捨ててください

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	168,000 円	
自己資金	85,000 円	
	円	
	円	
計	253,000 円	

2 支出の部

補助対象金額を記入してください

科目	予算額	摘要
耐震診断費・耐震改修 計画策定費	253,000 円	全体見積額 308,000円
	円	
	円	
	円	
計	253,000 円	

(注) 収支の計は、それぞれ一致する。

住宅耐震改修計画策定費補助事業

様式第27号(第4条関係)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

同意書

たつの市長 様

(補助金申請者) 679-4192

住 所 たつの市龍野町富永 1005-1

~~団 体 名~~

代表者名 龍 野 太 郎

(補助金対象住宅の所在地)

住 所 たつの市龍野町富永 1005-1

記

申請者が自署してください

補助金対象住宅の所有者全員の間において、補助金申請者がたつの市住宅耐震化補助金の交付を受け、事業を実施することについて同意します。

(補助金申請者以外の住宅所有者)

※所有者が自署してください

日 付 令和〇〇年〇〇月〇〇日

住 所 たつの市龍野町富永 1005-1

氏 名 龍 野 一 郎

日 付 令和〇〇年〇〇月〇〇日

住 所 たつの市龍野町富永 1005-1

氏 名 龍 野 二 郎

日 付 令和〇〇年〇〇月〇〇日

住 所 たつの市龍野町富永 1005-1

氏 名 龍 野 三 郎

住宅耐震改修計画策定費補助事業

様式第16号（第4条関係）

住宅概要書（1）

補助区分	■計画策定・□耐震改修・□簡易改修		
住宅の名称	龍野 太郎 邸		
住宅の所在地	たつの市龍野町富永 1005-1		<input checked="" type="checkbox"/> 申請者の住所と同一 <input type="checkbox"/> 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	龍野 太郎、龍野 一郎、龍野 二郎、龍野 三郎	
	住所	たつの市龍野町富永 1005-1	
工事監理者 又は施工者	事務所等名	(記入不要)	
	担当者氏名	(記入不要)	
建築確認年月日	昭和51年 5月23日 第1234号 ・ 不明		
検査済証	昭和51年10月29日 第6789号 ・ 不明		
築年月	昭和51年10月頃竣工		
住宅種別	■戸建住宅		
構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造・ <input type="checkbox"/> 鉄骨造・ <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造・ <input type="checkbox"/> その他 ()		
規模 ()内：改修前	地上 (2) 階・地下 () 階・搭屋 () 階		
	建築面積 (81.15) m ² ・延床面積 (110.0) m ²		
	店舗等併用 住宅の場合	店舗等の用に供する部分の床面積	(45.0) m ²
		延床面積に対する上記の割合	(40.9) %
耐震診断結果	改修前	未診断 点	改修後 (記入不要) 点
補助金額	166,000 円		
事業費	計画策定	200,000円上限	
		168,000円【見積額(253,000円)×補助率(2/3)】	
	耐震改修	円上限	
		円【見積額()円×補助率()】	
	簡易改修	円上限	
		円【見積額()円×補助率()】	
備考			

証明書と整合させてください

50%以上の場合は補助対象外です

※店舗等併用住宅の場合は、店舗等の床面積が分かる求積図・求積表を添付すること。
 簡易改修は、改修前の耐震診断結果が0.7未満と診断されたものに限る。

住宅耐震改修計画策定費補助事業

様式第10号（第9条関係）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住宅耐震化補助事業完了実績報告書

申請者が自署してください

たつの市長 様

(申請者) 679-4192

住 所 たつの市龍野町富永 1005-1

~~団体名~~

代表者名 龍 野 太 郎

令和〇〇年〇〇月〇〇日付けた建築第〇〇号で交付決定のあった住宅耐震改修計画策定費補助事業について、下記のとおり実施したので、補助金交付要綱第9条の規定によりその実績を報告します。

交付決定日・番号を記入してください

記

1 事業の内容及び経費区分（別記）

実際の契約日を記入してください
※契約日は交付決定日以降の日

2 事業の着手年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

事業の完了年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

代金支払日を記入してください

3 添付書類

たつの市住宅耐震化補助金交付要綱別表第1から別表第7までに定める書類を補助対象区分に応じ添付すること

住宅耐震改修計画策定費補助事業

別記

注意！決算書です

収支決算書

補助金額は、合計額の2/3以内かつ
200,000円以内とし、千円未満は切り
捨ててください

1 収入の部

科目	決算額	摘要
補助金	168,000 円	
自己資金	85,000 円	
	円	
	円	
計	253,000 円	

2 支出の部

科目	決算額	摘要
耐震診断費・耐震改修 計画策定費	253,000 円	全体契約額 308,000円
	円	
	円	
	円	
計	253,000 円	

合計金額は、契約書及び領収書記載の
金額と同じになります
※契約書と領収書の金額も同じであること

(注) 収支の計はそれぞれ一致する。

住宅耐震改修計画策定費補助事業

様式第19号（第4条、第9条関係）

精算書を○で囲み、清算を二重線で消してください

令和〇〇年〇〇月〇〇日

補助金 ~~算定~~ 精算書 (1)

住所 たつの市龍野町富永 1005-1
会社名 (株)たつの工務店
代表者名 建築 二郎

下記のとおり ~~見積り~~ ・ 精査 いたします。

改修業者が自署してください

記

補助区分		■計画策定
住宅の所有者		龍野 太郎
住宅の所在地		たつの市龍野町富永 1005-1
総経費	(e)=(c)+(d)	308,000 円
補助対象内経費	(d)=(a)+(b)	253,000 円
耐震診断費	(a)	80,000 円
耐震改修計画策定費	(b)	173,000 円
補助対象外経費	(c)	253,000 円

(注) 補助対象金額の分かる内訳書を添付してください。

住宅耐震改修計画策定費補助事業

様式第22号（第9条、第15条関係）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

耐震診断報告書

たつの市長 様

耐震診断者が自署してください

耐震診断者氏名 建築 一郎
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 43210 号
建築士事務所名 (株)たつの建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第98765号

龍野 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

記

診断方法、根拠となる書籍名(〇年版も含めて)などを具体的に記入してください

住宅の名称	龍野 太郎 邸
住宅の所在地	〒679-4192 たつの市龍野町富永1005-1
耐震診断の方法	「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
改修前における耐震診断結果 ^{※1} 評点 <u>0.36</u>	(所見) X方向・Y方向とも開口部が多く、既存壁量が不足していることから、上部構造評点が1階X方向0.36、Y方向0.59となっており、倒壊する可能性が高い。
改修後における耐震診断結果 評点 <u>1.08</u>	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方向とも1.0を上回り、耐震性能の向上を図る。 (具体的な補強方法) ① 耐震壁(モイスかべつよし)をバランスよく追加、増設する。 ② 屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。
備考	

(注) 改修前後の耐震診断計算書(診断者の記名押印共)を添付してください。

※ 改修前の耐震診断計算書は、平成12年度から14年度までに実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は平成18年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより省略することができます。

改修後の評点が著しく高い場合(2.0以上)は理由書を添付してください

改修前における所見、耐震改修の方針等については、ls値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述してください